

# 50年の歩みを確信に

## 1965-2014



# 埼玉県消費者大会

## 50周年記念誌

《発行 第50回埼玉県消費者大会実行委員会》

埼玉県消費者団体連絡会／埼玉県地域婦人会連合会／新日本婦人の会埼玉県本部／埼玉県生活協同組合連合会／埼玉母親大会連絡会／埼玉公団住宅自治会協議会／埼玉県生協ネットワーク協議会／さいたま市消費者団体連絡会／コーペル／生活協同組合コープみらい／生活協同組合パルシステム埼玉／医療生協さいたま生活協同組合／さいたま住宅生活協同組合／埼玉県労働者共済生活協同組合／JA 埼玉県女性組織協議会／埼玉県農民運動連合会／NPO 法人埼玉消費者被害をなくす会／埼玉県消費生活コンサルタントの会／春日部市くらしの会／加須市くらしの会／久喜市くらしの会／志木市くらしの会／白岡市くらしの会／越谷市消費生活研究会／所沢市消費者団体連絡会／埼玉県西部地区消費者団体活動推進世話人会／新座市くらしの会

# 50周年誌 発刊に寄せて



埼玉県消費者大会が50周年を迎えられましたことをお喜び申し上げますとともに、このたび50周年記念誌が刊行となりますことを心からお祝い申し上げます。

消費者団体の皆様が消費をめぐる様々な問題に熱意をもって取り組まれるとともに、半世紀にわたり埼玉県消費者大会を継続してこられたことに深く敬意を表します。

この50年、「森永ヒ素ミルク事件」をはじめ、「ブリタニカ商法」や「豊田商事事件」など様々な消費者問題が発生しました。これらの問題に対していち

早く声を上げ、解決に向けて社会を動かしてきたのは消費者団体の皆様です。

皆様の熱心で妥協を許さない取組が「クーリングオフ制度の創設」や「消費者基本法の制定」、「消費者庁の設立」など、現在の消費者行政の仕組みをつくってきたといっても過言ではありません。

さて、近年、高齢者を狙った悪質商法による被害が増えています。県では、「悪質事業者は絶対に許さない」という強い姿勢で徹底した処分を行っております。高齢者の消費者被害を未然に防ぐためには、警察、行政だけではなく、身近な高齢者が不必要なリフォームをしていないか、同じ商品を大量に購入していないかなど、皆様による見守りや声掛けが大変効果的です。今後とも、誰もが安心・安全に暮らせる社会づくりに、皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、埼玉県消費者大会の更なる御発展と、各団体の活動と連携がますます進みますことを祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

上田 清司 埼玉県知事



50周年記念誌の発刊、誠におめでとうございます。この半世紀を振り返りますと、今さらながら、先人達の熱い思いが伝わってまいります。時は昭和40年代前半、高度経済成長真っ只中、偽牛缶事件を始めとする表示の問題、化学薬品の被害など暮らしを脅かす出来事が続きました。そんな社会情勢を受け、県内には様々な婦人団体が誕生いたしました。主体的に活動し、また行政にも働きかける団体が県内各地に広がっていきました。こうした機運の高まりの中、埼玉県と地

域婦人会連合会との共催で、第1回消費者大会が開催されております。1965年11月11日、熱気に溢れた会場は1300人を超える人々で埋まりました。

次来、消費者大会の回数は重なり、その参画団体は17団体と大きく広がりました。家電の不買運動を始めとする長年の消費者保護活動の成果として、ついに消費者庁が発足いたしました。今後も行政との連携を強め、私達の暮らしを守っていきましょう。未来を担う子ども達のためにも。

柿沼 トミ子 第50回埼玉県消費者大会実行委員長（埼玉県地域婦人会連合会 会長）

# -消費者大会の始まり- 第1回～第6回



時は 1960 年代、高度経済成長の真ただ中、偽牛缶事件を始めとする表示の問題、化学薬品の被害など、暮らしをおびやかす出来事がおこりました。

埼玉県内には様々な婦人団体が誕生してきた。趣味もしくは、文化団体と異なった性格の団体、主体的に生活を防衛し、また行政に働きかける団体が県内各地にひろがっていきました。

-さいたま女性の歩み-より一部引用

こうした機運の高まりの中で、1965 年 11 月 11 日、埼玉県と県地域婦人会連合会により、第1回消費者大会（第6回までの名称は地域婦人中央集会）が始まりました。スローガンは「賢い消費者となるために」、会場の大宮商工会館は、立ち見も含め1300人を超す人々で埋まりました。大会では県内各地で取り組まれた研修会などの報告が行われた。



大会の様子を伝える 埼玉県婦連 40号

大会	開催月	スローガン・テーマ	政治・社会の出来事
第1回	1965年11月	賢い消費者となりために	企画庁：国民生活局設置、サリドマイド禍
第2回	1966年11月		ユリア樹脂製食器からホルマリン検出
第3回	1967年11月	当面する消費者問題	ポッカレモン事件、不当表示の批判高まる
第4回	1968年11月	物価と自衛組織	カネミ油症事件発生
第5回	1970年2月	実践する婦人団体	チクロ禁止、ナショナル製品不買運動
第6回	1971年2月	広告、宣伝、物価問題	再販製品不買運動、ドルショック

# -県内消費者団体が力をあわせる場へ-第7回～第17回

1972年におこなわれた第7回大会は、名称を消費者大会とあらため開催されました。大会趣旨では「県内の消費者が一堂に会し、消費生活をめぐる諸問題の理解と関心を深め、行動する消費者として、消費者自らの手で守る方法を考えよう」と、県内の消費者団体に呼びかけがおこなわれました。

1974年におこなわれた第9回大会より、主催を埼玉県と県内11消費者団体に移し、あらたな門出を迎えました。大会決議では、米価の安定、公共料金の据え置き、福祉政策の強化など、8つの項目を満場一致で決議しました。



1974年3月26日 埼玉新聞朝刊より

第9回大会終了後には、埼玉県消費者団体連絡会の結成をめざし、7団体が準備会を発足しました。2年間の準備期間を経て、1976年6月に結成大会がひらかれ、11団体が参加しました。その後、第17大会からは、実行委員会による運営に移行し、消費者大会を開催してきました。

こうして、消費者大会をきっかけにして、県内の様々な消費者団体がつながりを強め、大きな輪を築いてきました。

大会	開催月	スローガン・テーマ	政治・社会の出来事
第7回	1972年2月	円切り上げと、これからの消費生活	消火器の訪問販売で問題続出 PCB使用禁止
第8回	1973年2月	消費者の権利は守られているか	第1次石油ショック、狂乱物価 サッカリン使用禁止
第9回	1974年3月	今こそ消費者の力を	灯油裁判、AF2追放
第10回	1975年3月	反映させよう消費者の声を	独占禁止法改正
第11回	1976年2月	真実を消費者の手で —消費者の権利を確立しよう—	塩ビ食品容器の不買運動 埼玉消団連結成
第12回	1977年3月	くらしを守ろう消費者の手で！ —豊かな社会は明るい政治で—	OPP使用認可・ボイコット運動
第13回	1978年2月	消費者の自主的組織と運動を強め、くらしを大切にする政治を確立させよう！	放射線の粉末野菜を使用したベビーフード市場に出回る 一般消費税反対運動
第14回	1979年2月	消費者の自覚と団結で、政治の不公平をなくそう！一般消費税反対	第2次オイルショック 金の先物取引で被害続出
第15回	1980年2月	消費者の団結で狂乱物価と公害を阻止しよう！	水道水のトリハロメタン汚染問題 公共料金値上げ反対運動
第16回	1981年2月	消費者の団結で平和とくらしを守ろう！	食管法改正公布、米穀通帳廃止
第17回	1982年3月	国民生活を脅かす“行政改革”に反対し、消費者の団結で平和とくらしを守ろう！	日弁連「食品衛生法の改正を求める意見書」を厚生省に提出

# -大きな輪のひろがり-

## 第18回～第29回

大会	開催月	スローガン・テーマ	政治・社会の出来事
第18回	1983年2月	国民生活を大切にする政治をもとめ、消費者の団結で平和とくらしを守ろう！	県情報公開条例発足 BHA 全面禁止延期
第19回	1983年9月	消費者の団結で国民生活を大切にする政治をもとめ、平和とくらしを守ろう！	食品添加物大幅規制緩和 →11品目新指定 水銀乾電池回収問題発生
第20回	1984年9月	明るい未来をめざし、広げよう20年の輪を	健康保険法「改正」



1984年 第20回大会の様子

大会	開催月	スローガン・テーマ	政治・社会の出来事
第21回	1985年9月	消費者行政の後退を阻止し、消費者の自立と連帯でくらしと権利を守ろう	豊田商事(金の現物まがい取引等)事件、社会問題化
第22回	1986年9月	不況と増税に反対し、消費者のくらしと権利を守ろう！	一部悪質抵当証券会社の詐欺的商法により被害を受ける購入者が多数発生
第23回	1987年9月	円高不況と新間接税に反対し消費者のくらしと権利を守ろう！	靈感商法の被害が増大 アスベスト汚染問題化
第24回	1988年9月	見直そう消費者の権利と役割	日米間で、牛肉・オレンジ自由化合意
第25回	1989年9月	消費税廃止・公正な税制の確立 安全に生きる権利を	消費税導入3%、原野商法相次いで摘発される
第26回	1990年9月	消費者のちえと力をよせあって 草の根の行動を広げましょう	湾岸情勢の影響で石油製品値上げ マルチ、マルチまがい商法被害増加
第27回	1991年9月	考えよう、未来への責任 -環境・食糧・エネルギー・くらし-	牛肉・オレンジ自由化スタート 継続的役務取引のトラブル増加
第28回	1992年9月	安全にゆたかに生きる消費者の権利 ～製造物責任法の制定、食品の安全と環境を守り、福祉の充実を～	ダイヤルQ2 被害拡大 カード破産を主とする個人の自己破産急増
第29回	1993年9月	今、消費者にとって大切なこと。 ～自然と環境・食品の安全・消費者の権利～	バブル崩壊により変額保険被害問題 マルチ・マルチまがい商法被害増加

# -消費者問題の多様化・複雑化の時代-第30回～第39回

大会	開催月	スローガン	政治・社会の出来事
第30回	1994年9月	今こそ、安全で豊かな生活優先社会を～消費者は怒っている！	国産米品薄で価格が急騰 価格破壊始まる 製造物責任法（PL法）公布
第31回	1995年9月	不安がいっぱい、消費者の力で安全で豊かなくらしを守ろう	阪神・淡路大震災 こんにゃくゼリー窒息事故 悪質な電話勧誘に関する苦情急増続 食品の日付表示を期限方式に一本化
第32回	1996年11月	政治や社会に目をひらき、よりよいくらしと社会・安心できる将来を共同して求めましょう	欧州で狂牛病発生 病原性大腸菌 O-157 による食中毒続出
第33回	1997年10月	未来をきりひろくのは、私たち・考えよう、地球にやさしいまちづくり・子どもたちを健全な消費者・生活者に育てよう・作ろう、安心してくらせる福祉社会	ココ山岡破産 消費税3%から5%に変更 預託商法の被害急増 介護保険法公布 ダイオキシン汚染問題発生



## ★社会の出来事 ダイオキシン汚染問題★

1990年前半より、県西部の所沢市・狭山市・三芳町・大井町（現在のふじみ野市）にまたがる通称「くぬぎ山」に廃棄物焼却施設が密集し、排出されるばい煙により周辺地域にダイオキシン汚染が広がりました。

95年におこなわれた住民による調査、その後の埼玉県による調査の中で、高濃度のダイオキシンが検出され、大きな問題となりました。消費者大会でも第33回～第35回にかけて、分科会を設けました。第33回「ダイオキシンと環境汚染」には185人が参加しました。

第34回	1998年9月	くらしと未来があぶない！いまこそ、みんなの力を合わせよう	医師への損害賠償訴訟提訴、97年596件へ急増（5年前の約6割増）
第35回	1999年9月	許せない・くらしの不安「安心と安全」の21世紀をつくろう！	消費者被害の救済に役立つ消費者契約法の制定を求める特別決議 塩化ビニール使用を含むおもちゃ素材表示の自主基準作成 訪問販売法及び割賦販売法 改正
第36回	2000年9月	消費者の協同で、安心してくらせる21世紀をつくろう！	雪印乳業食中毒事故発生 三菱自動車リコール隠し、エステティックサロン「エステ de ミロード」
第37回	2001年9月	21世紀は市民の時代、みんなの協同で、安心して暮らせる社会を作ろう	国内で初めて牛海綿状脳症に罹患した牛を確認
第38回	2002年10月	消費者が安心してくらせる公正な社会をめざしましょう！今、私たちのくらしは安全か？	食品偽装表示事件の多発 JAS法改正 農薬取締法改正
第39回	2003年10月	消費者の権利を確立し、平和で安心してくらせる社会を実現しましょう！	架空不当請求被害増大 改正食品衛生法 食品安全基本法 公布

# -消費者市民社会へ-

## 第40回～第45回

### 第40回大会

	開催月 2004年10月
	スローガン・テーマ 消費者の権利を確立し、平和で安心してらせる社会を実現しましょう！
	政治・社会の出来事 高病原性鳥インフルエンザ発生振り込め詐欺被害の多発、偽造・盗難キャッシュカード被害急増 消費者基本法の公布、消費者の権利の確立、公益通報者保護法公布

### 第41回大会

	開催月 2005年10月
	スローガン・テーマ 消費者の権利を確立し、平和で安心してらせる社会を実現しましょう！
	政治・社会の出来事 高齢者を狙った悪質リフォーム工事被害社会問題化 多重債務問題の深刻化し、運動が全国にひろがる 消費者基本計画閣議決定、食育基本法公布

### 第42回大会

	開催月 2006年10月
	スローガン・テーマ 平和で安心してらせる公正な社会を実現しましょう！
	政治・社会の出来事 「ロコ・ロンドン取引」の被害表面化 消費者契約法改正（消費者団体訴訟制度導入） 消費生活用製品安全法改正

### 第43回大会

	開催月 2007年10月
	スローガン・テーマ 平和で公正な社会を実現し、明るい未来をつくりましょう！
	政治・社会の出来事 NOVA事件、L&G（円天）事件 電気用品安全法改正

### 第44回大会

	開催月 2008年10月
	スローガン・テーマ 平和で公正な社会を実現し、明るい未来をつくりましょう！
	政治・社会の出来事 リーマン・ブラザーズ破綻、ゼロゼロ物件トラブル増加 消費者契約法等の一部を改正する法律公布（特商法・景品表示法へ差止請求の対象拡大）

### 第45回大会

	開催月 2009年10月
	スローガン・テーマ 高めよう、消費者市民力！平和で安心してらせる社会をつくりましょう
	政治・社会の出来事 商工ローン業者「SFCG(旧商工ファンド)」民事再生法の適用を申請、劇場型勧誘による被害多発 消費者庁関連3法案公布にともない消費者庁・消費者委員会設置

# -消費者が権利を用いる時代へ-

第46回～第50回

## 第46回大会

	開催月 2010年10月
	スローガン・テーマ 高めよう、消費者市民力！平和で安心してらせる社会をつくりましょう
	政治・社会の出来事 外国通貨購入の被害が増加、貴金属等の訪問買取り被害多発 消費者金融業者最大手「富士」経営破綻 消費者基本計画 閣議決定 貸金業法、出資法、利息制限法 完全施行

## 第47回大会

	開催月 2011年10月
	スローガン・テーマ 高めよう消費者市民力！平和で安心してらせる共生社会をつくりましょう
	政治・社会の出来事 東日本大震災 原発事故発生、スマートフォンのトラブル急増 高齢者の居住の安定確保に関する法律 改正 消費者基本法一部 改正

## 第48回大会

	開催月 2012年10月
	スローガン・テーマ つながろう ふみだそう 持続可能な社会に向けて
	政治・社会の出来事 「コンプガチャ」問題(景品表示法違反の見解) 劇場型投資被害増大、二次被害増加 消費者教育推進法成立、地方消費者行政の充実・強化のための指針策定 消費者教育の推進に関する法律公布、消費者安全法改正

## 第49回大会

	開催月 2013年10月
	スローガン・テーマ つながろう ふみだそう 平和で公正な社会に向けて
	政治・社会の出来事 健康食品送りつけ商法激増、ホテルや百貨店でのメニュー表示問題、薬用化粧品白斑トラブル 初の「消費者白書」発行

## 第50回大会

開催月 2014年10月	
	スローガン・テーマ  50年の歩みを確信に 平和で安心して らせる社会をめざして